

【生薬名】 蘇木 *SAPPAN LIGNUM*,

【起源植物】 スオウ *Caesalpinia sappan*,



【科名】 マメ科 *Leguminosae*

【別名】 蘇方木

【薬用部分】 心材

【主成分】 色素成分ブラシリリン、精油、タンニン

【薬性】 気味は甘鹹平、婦経は心肝脾に属す

【効能】 ●止血・行血祛瘀・通絡止痛

●主として外傷および婦人科疾患で使用する

●打撲捻挫の内出血の腫脹・疼痛に新旧を問わず適用する

●抗菌作用があり腸炎・赤痢・膿血便に使用するが他の清熱燥湿剤を配合する必要がある

●血液凝固促進、中枢抑制、催眠作用がある

●高脂血症改善作用

●駆瘀血、抗炎症、通経、鎮痛薬として、産後瘀阻、経閉、腹痛、月経不調、癰痛、打撲傷などに応用する

【出典】 ●婦人の血気、心腹痛、月経不調、及び蓐勞を治す。婦人の失音、赤白痢、並びに後分急痛を治す。(日華子本草)

●三陰の經、血分の薬であって、少しく用いれば血を和し、多く用いれば血を破る。(本草綱目)

【備考】 ●植物性の陳久瘀血剤

●現在では薬用よりも染料としての用途が多い

【処方例】 ●通導散